

〈研究題目〉

超高齢者胃がん患者の治療法別予後に関する研究

1. 研究の対象

当院において2015年12月31日までに85歳以上の時点で胃がんと診断された方を対象

2. 研究目的・方法

胃がんの治療は通常ガイドラインに沿って進められますが、急速に進む高齢化社会において、年齢や重篤な併存疾患があることを理由にガイドラインで推奨される治療法とは異なる方法を選択されることがあります。治療法の選択は担当医の判断および患者さんの希望も加味して行われますが、そこに科学的な根拠がないこともあります。本研究では85歳以上の超高齢で見つかった胃がん患者さんのこれまでの治療成績および予後（無治療で経過観察した患者さんも含む）を振り返り、超高齢者に対するそれぞれの治療法の安全性、有効性を調べることです。

3. 研究に用いる資料・情報の種類

当院において2015年12月31日までに85歳以上の時点で胃がんと診断された方を対象とし、年齢・性別・既往歴・胃がんに関する情報（ステージ・治療法など）・予後などをデータベースに登録します。

本研究において患者様に特別な費用負担がかかることはございません。

4. 外部への試料・情報の提供

個人情報の取り扱いについては、氏名や住所など患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたしますので、第三者に特定されることはありません。プライバシーへの最大限の配慮を行った上で、研究成果は学会や学術雑誌などで公表される予定です。

5. 研究組織

本院では京都第一赤十字病院消化器内科を主導に行われています多施設共同研究「超高齢者胃がん患者の治療法別予後に関する研究」に参加しています。

6. お問い合わせ先

本研究は診療録（カルテ）から診療情報を調査する研究（後ろ向き研究）であり、情報等の使用について同意書は頂きません。診療情報が本研究に用いられることにについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、担当医師か下記の連絡先にお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようにお願い申し上げます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

近江八幡市立総合医療センター 消化器内科

間嶋 淳

TEL 0748-33-3151（お問い合わせの際は「超高齢者胃がん研究の件で」とお伝えください）